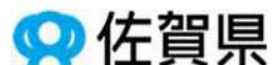


# 最近の経済情勢

## (県内企業経営状況調査の結果)

- ◇ 調査期間 令和5年5月17日～5月31日
- ◇ 対 象 県内企業500社対象
  - ・有効回答176社:回答率35.2%
  - ・内訳:製造業 250社(回答104社)  
非製造業 250社(回答72社)
- ◇ 方 法 Webアンケート

産業労働部



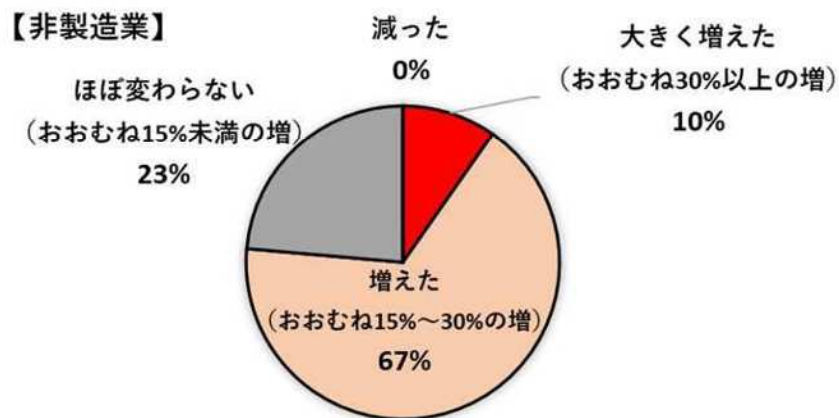
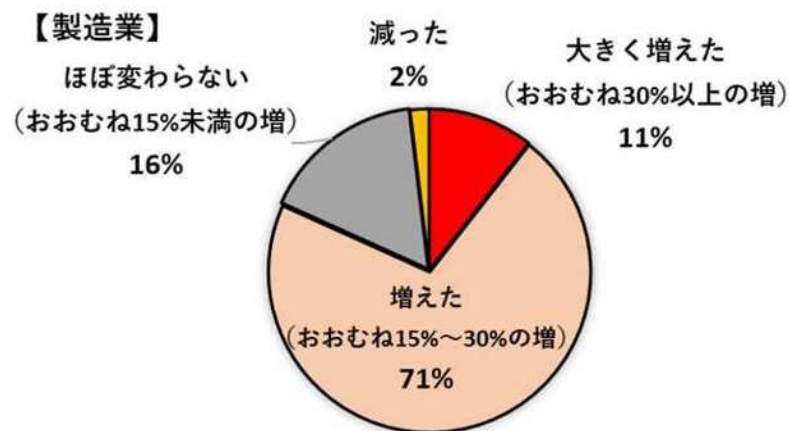
# 設問

---

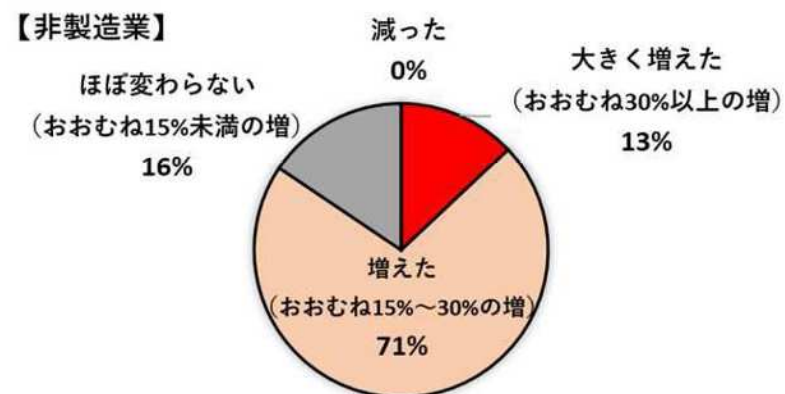
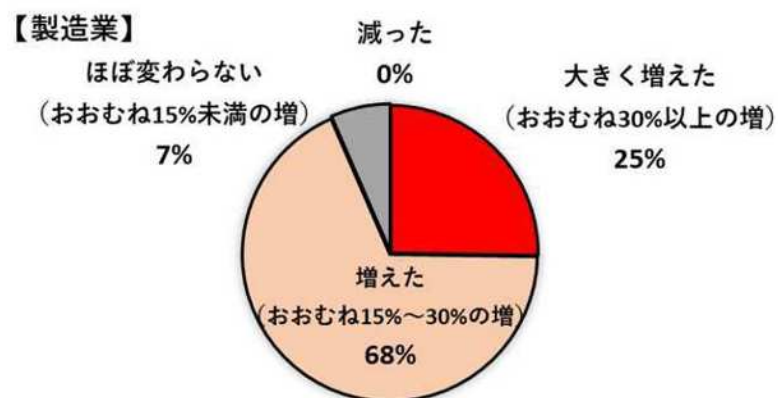
- 1 原材料・エネルギーコストの状況：①1年前との比較、②価格転嫁状況
- 2 業況：①現況、②3か月前との比較、③今後(3か月程度)の見通し
- 3 経営課題
- 4 設備投資：①取組姿勢、②予定している設備投資の目的
- 5 雇用状況：①従業員数の過不足の状況、②過不足職種
- 6 賃上げの状況：①令和4年度以降の実施状況、②賃上げ率

# 1. 原材料・エネルギーコストの状況 - 1年前との比較 -

- 「大きく増えた」と「増えた」を合わせた割合が製造業・非製造業ともに約8割。
- いずれも前回より減少。

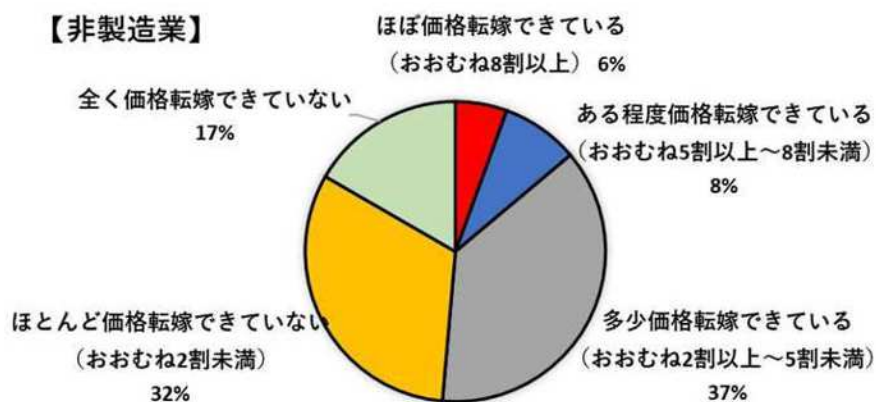
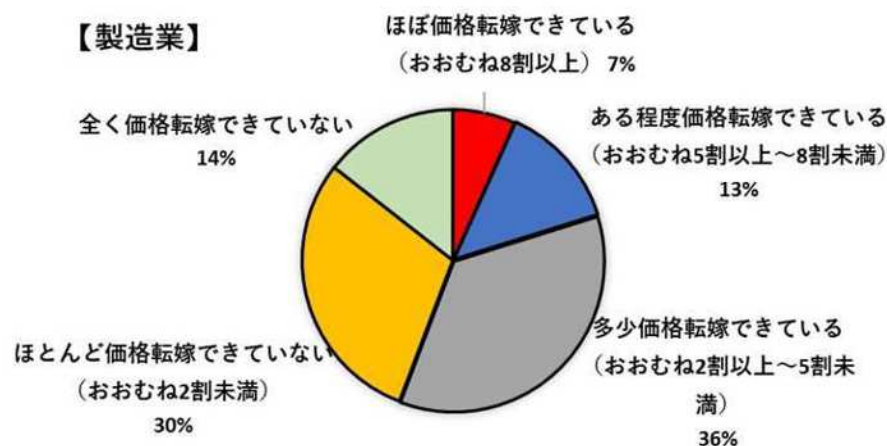


(参考) 前回(令和5年2月)調査時

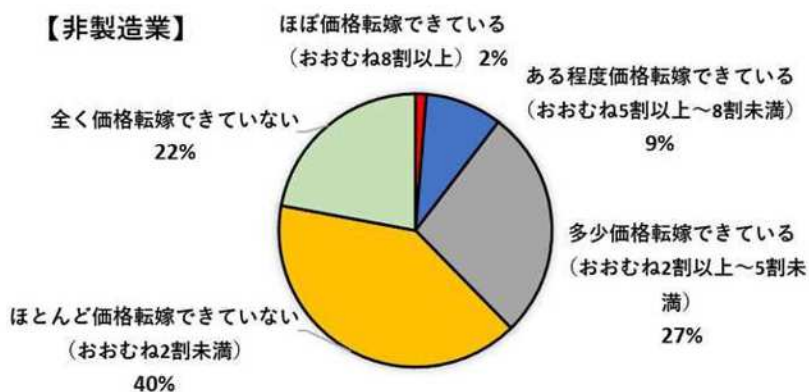
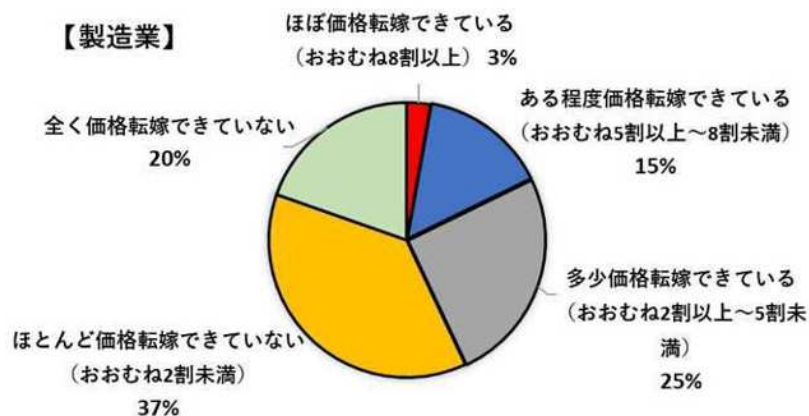


# 1. 原材料・エネルギーコストの状況 - 価格転嫁状況-

- 「全く価格転嫁できていない」と「ほとんど価格転嫁できていない」を合わせた割合が製造業、非製造業ともに約5割。
- 製造業・非製造業ともに「全く価格転嫁できていない」と「ほとんど価格転嫁できていない」が前回よりも減少、「多少価格転嫁できている」が増加。



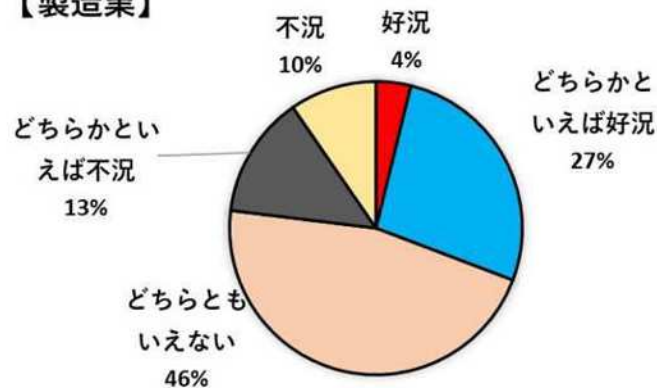
(参考) 前回(令和5年2月)調査時



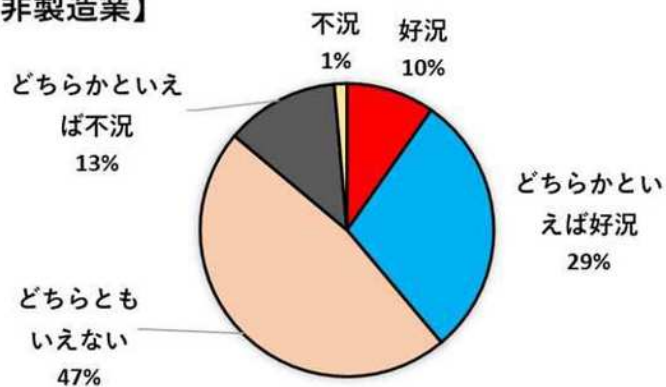
## 2. 業況 - 現在の業況 -

- 「好況」と「どちらかといえば好況」を合わせた割合が、製造業では約3割、非製造業では約4割。
- 製造業・非製造業ともに前回より増加。

【製造業】

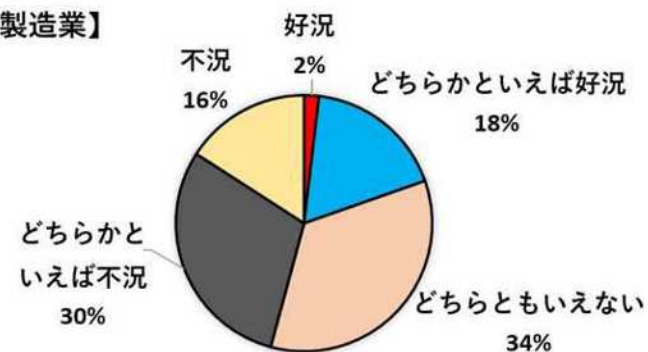


【非製造業】

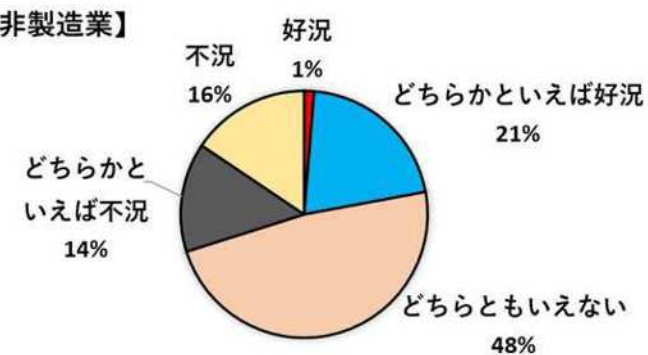


(参考) 前回(令和5年2月)調査時

【製造業】



【非製造業】

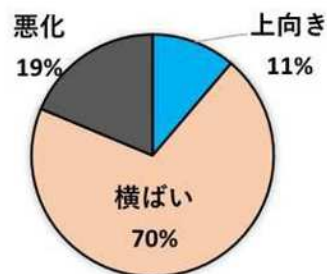


## 2. 業況 - 変化 (3か月前→現在→3か月後)-

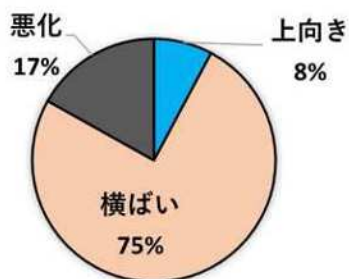
- 3か月前から現在までの業況は、前回調査時の予測と比べ、**製造業・非製造業ともに「横ばい」が減少し、「上向き」が増加。**
- 今後3か月の業況は、**製造業では「悪化」が減少、非製造業では「上向き」が減少し、「横ばい」が増加。**

(参考) 前回(令和5年2月)調査時

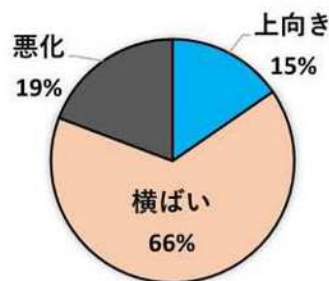
【製造業】業況の変化(現在→3か月後)予測



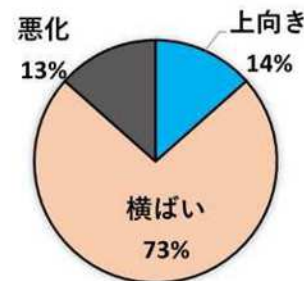
【非製造業】業況の変化(現在→3か月)予測



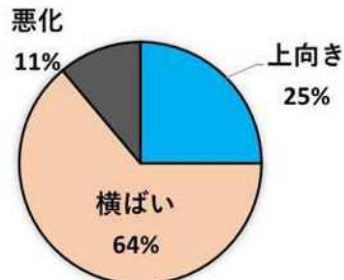
【製造業】業況の変化(3か月前→現在)実績



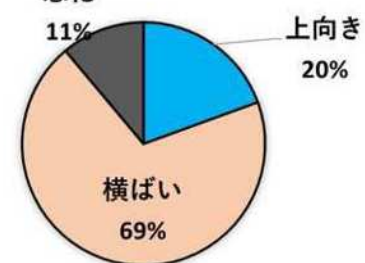
【製造業】業況の変化(現在→3か月後)予測



【非製造業】業況の変化(3か月前→現在)実績



【非製造業】業況の変化(現在→3か月後)予測



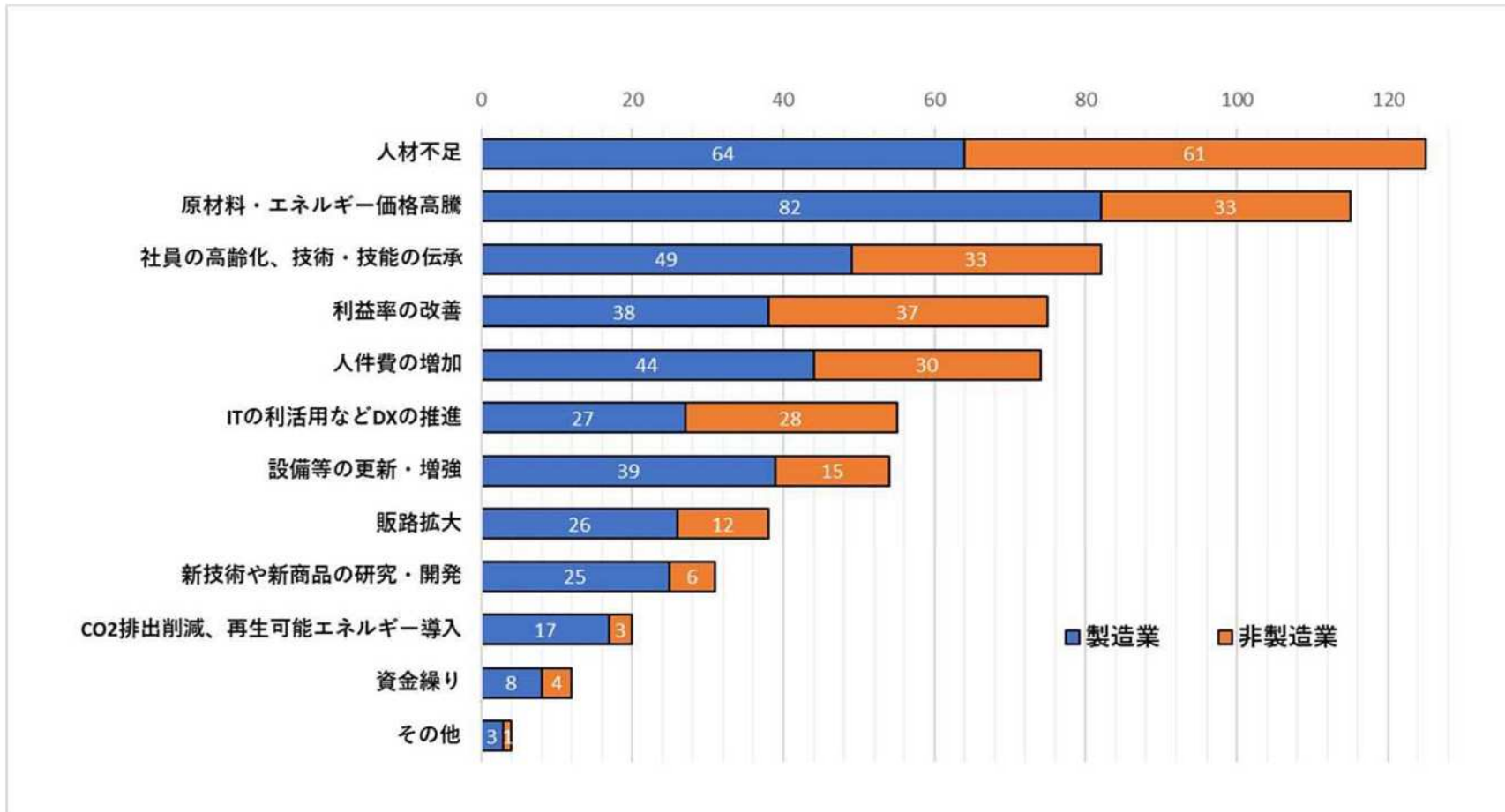
### 3. 現在の経営課題(複数回答)

製造業

原材料・エネルギー価格高騰 82社 (79%)  
 人材不足 64社 (62%)  
 社員の高齢化、技術・技能の伝承 49社 (47%)  
 人件費の増加 44社 (42%)

非製造業

人材不足 61社 (85%)  
 利益率の改善 37社 (51%)  
 原材料・エネルギー価格高騰 33社 (46%)  
 社員の高齢化、技術・技能の伝承 33社 (46%)



### 3. 企業の主なコメント

---

#### 製造業

##### 【原材料・エネルギー価格高騰】

・原材料・エネルギー価格高騰の影響で利益率は低下している。

(電気機械器具製造業)

・原材料の高騰が続けば、今後、これ以上の価格転嫁は難しくなる。

(パルプ紙加工製造業)

##### 【人材不足】【社員の高齢化、技術・技能の伝承】

・仕事の依頼は増加傾向にあるが、人材不足で受注増がままならない。

(輸送用機械器具製造業)

・社員の高齢化に伴い、技術・スキルを持つ人材を募集しているが、人材が集まらない。

(生産用機械器具製造業)

#### 非製造業

##### 【人材不足】

・人材不足のため業務の滞りがある。効率化のためIT導入を考えている。

(宿泊業)

・技術系の人員は、新卒・中途採用ともに厳しい状況が続いている。

(建設業)

##### 【利益率の改善】・【原材料・エネルギー価格高騰】

・原材料費・人件費の高騰が利益率を圧迫している。

(飲食店)

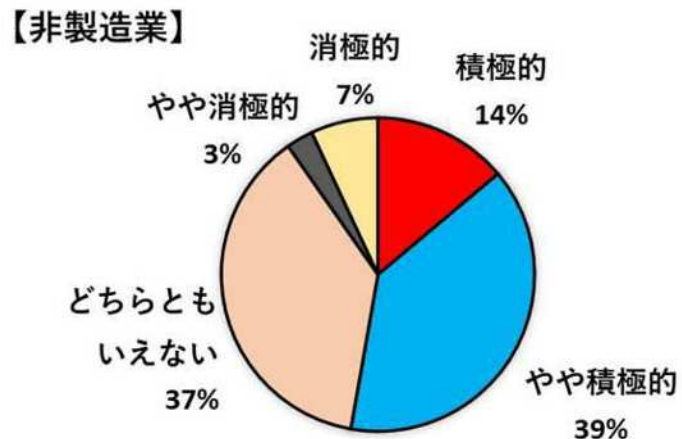
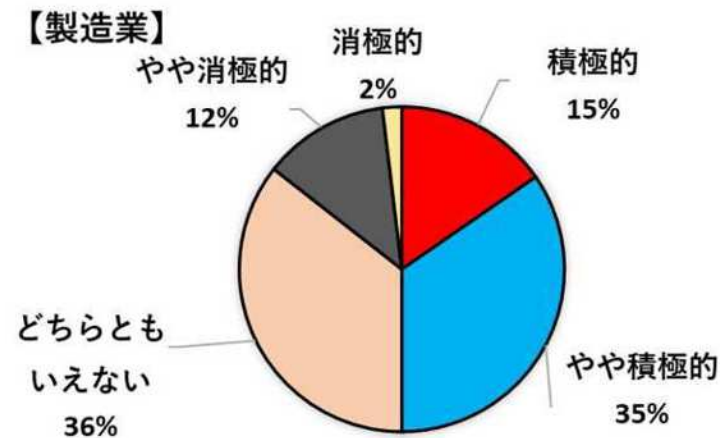
・資材・材料費の値上げが予定されており、利益率の低下が懸念される。

(設備工事業)

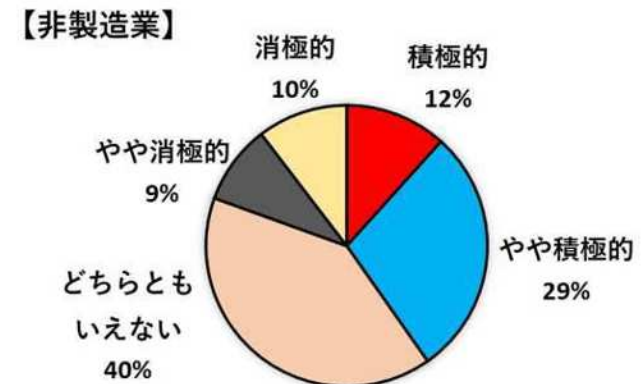
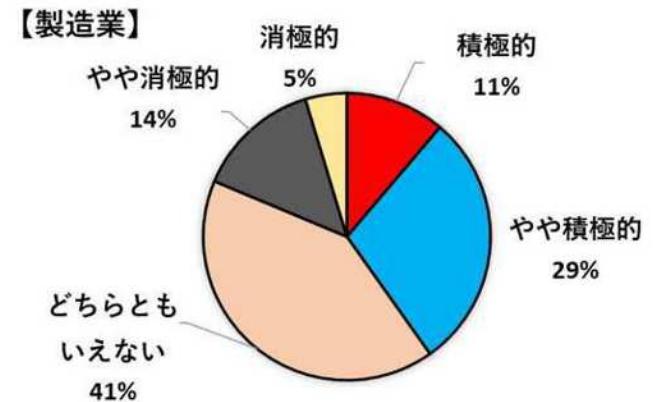


## 4. 設備投資 - 取組姿勢 -

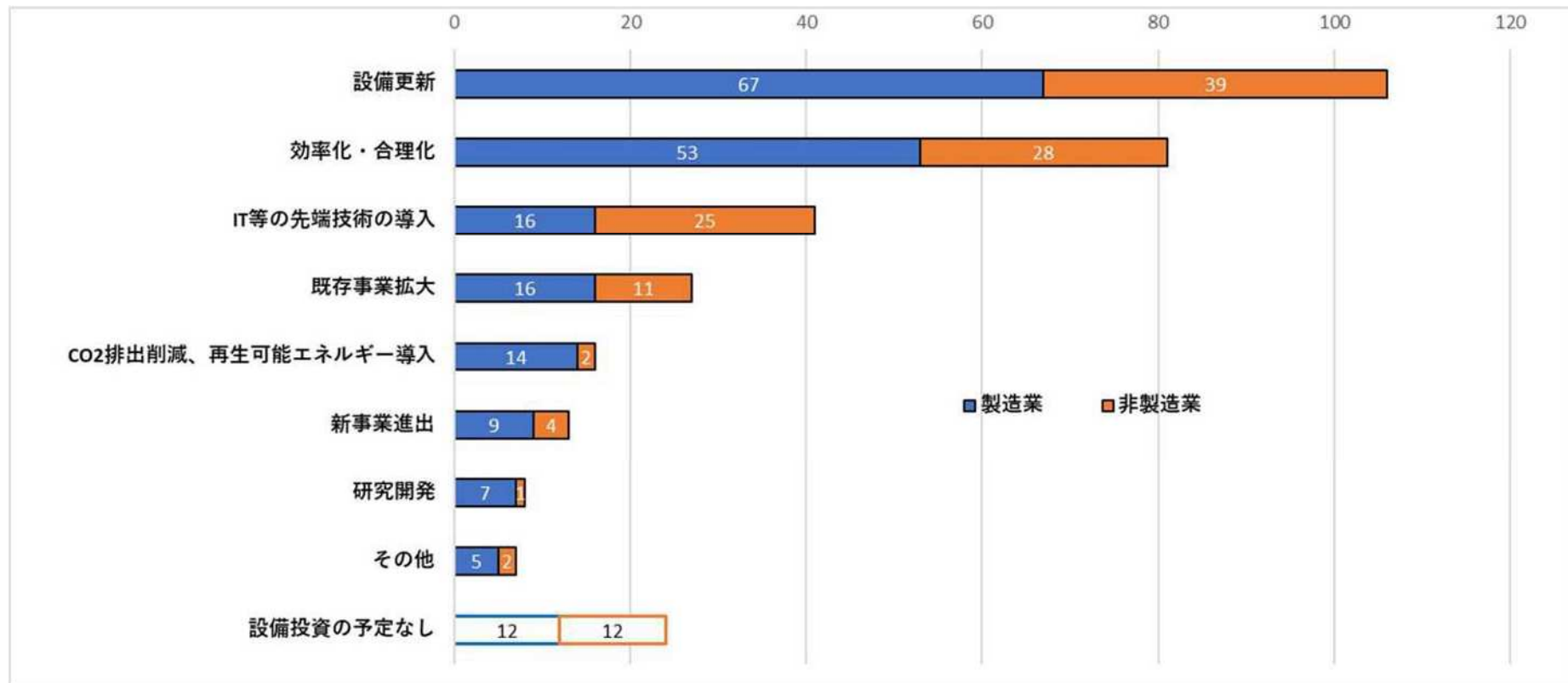
- 「積極的」と「やや積極的」を合わせた割合が製造業・非製造業ともに約5割。
- 製造業・非製造業ともに、前回より増加。



(参考) 前回(令和5年2月)調査時



## 4. 設備投資 - 目的 -



### 企業の主なコメント

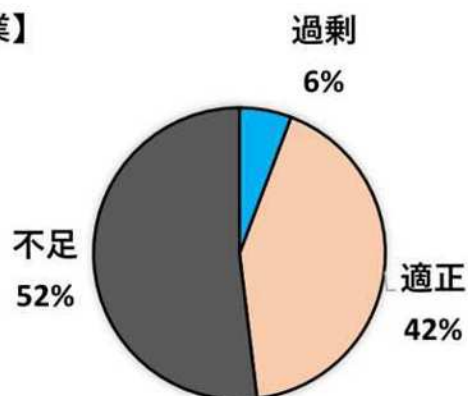
- ・自動化・省力化のため、ロボット・AIなど、先端技術の導入を計画している。  
(金属製品製造業)
- ・今後も人件費の増加が続くことを見込んで、設備投資による人件費増の解消を検討している。  
(機械器具卸売業)
- ・エネルギー価格高騰の影響抑制のため、再生可能エネルギー発電設備の導入を進めている。  
(金属製品製造業)

## 5. 雇用状況 - 過不足感 -

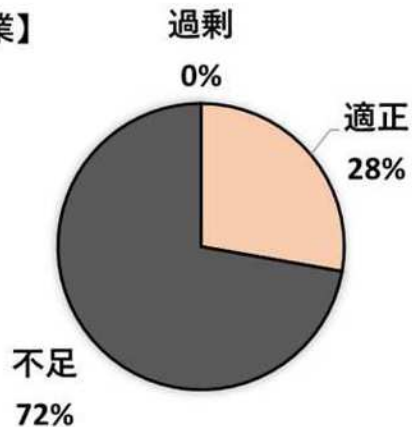
- 「不足」の割合が製造業は約5割、非製造業は約7割で、いずれも前回より減少傾向。
- 「不足」職種の上位は、製造業で作業員(69%)、技能工(50%)、非製造業で販売・営業(42%)、専門・技術(37%)。

(複数回答、括弧内は「不足」と回答した企業中の回答割合)

【製造業】

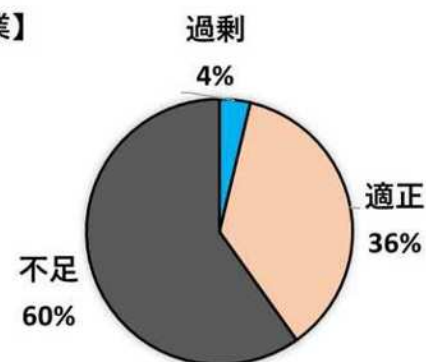


【非製造業】

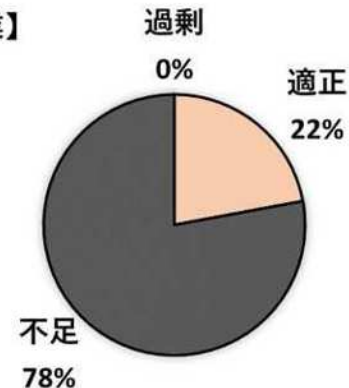


(参考) 前回(令和5年2月)調査時

【製造業】



【非製造業】



## 5. 企業の主なコメント

---

### 製造業

#### 「不足」

- ・高卒の就職希望者が減少傾向にあるため、人材確保が難しくなっている。

(プラスチック製品製造業)

#### 「適正」

- ・従業員数は適正だが、人員構成が高齢化しており、若手・中堅の採用の強化が必要。
- ・半導体関連企業が採用攻勢をかけているため、今後さらに人材確保が難しくなるのではないかと危惧している。

(金属製品製造業)

### 非製造業

#### 「不足」

- ・技術職を募集しているが、応募がなく困っている。

(機械器具卸売業)

- ・社員が高年齢化する中、中途採用は年2、3人確保できているが、新卒採用はほぼない。技術や技能の伝承のためにも若い人材が必要。

(総合工事業)

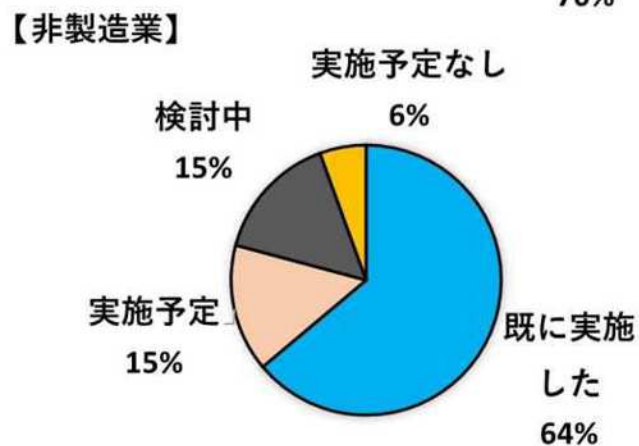
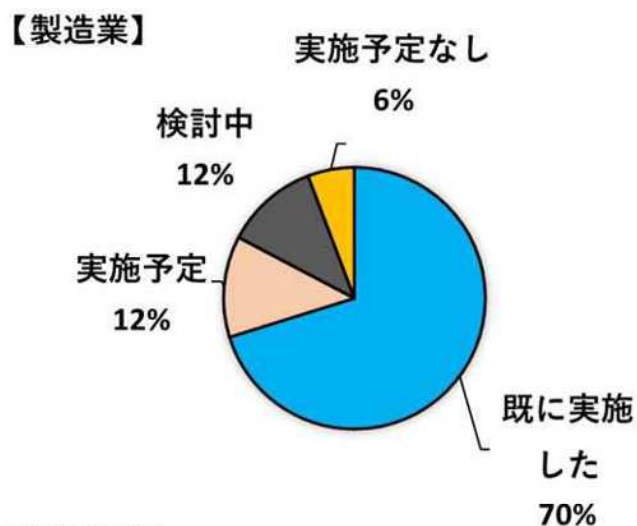
#### 「適正」

- ・規模としては適正な従業員数だが、全体的な年齢層のバランスに不安がある。

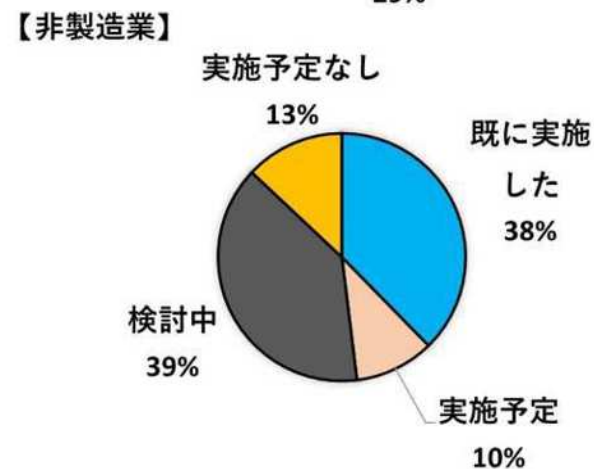
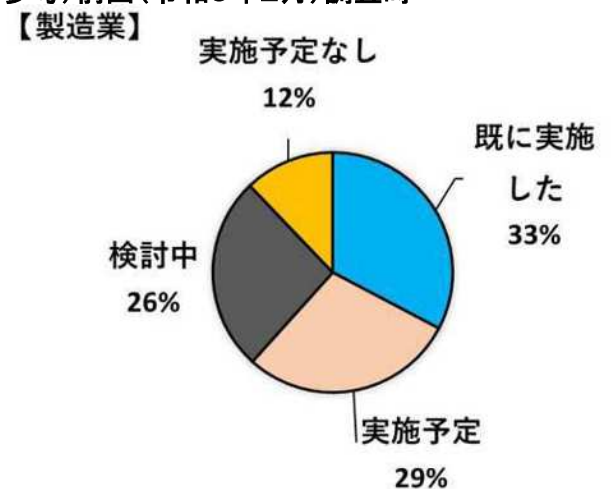
(設備工事業)

## 6. 賃上げの状況 - 令和4年度以降の実施状況-

- 「既に実施した」は製造業で7割、非製造業で約6割。いずれも大幅に増加。

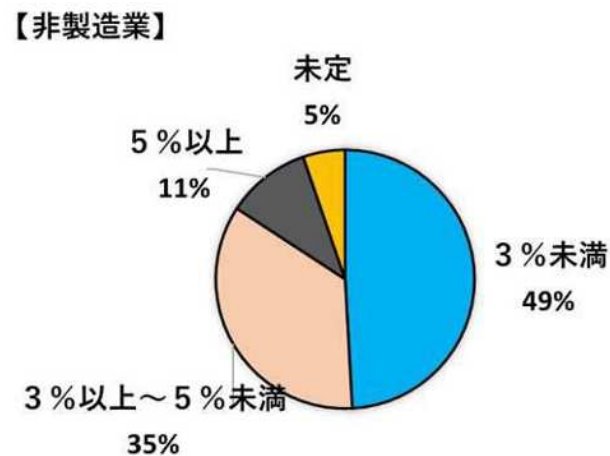
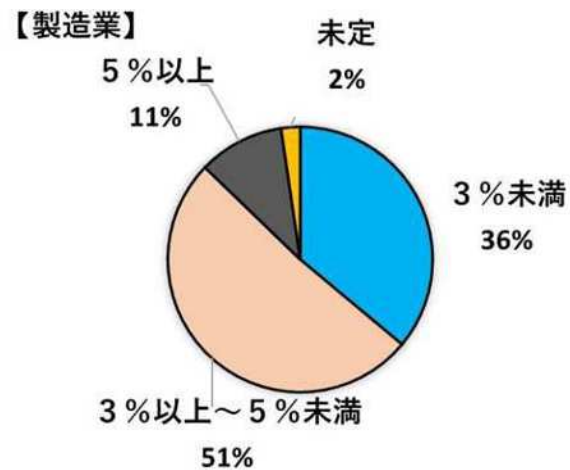


(参考) 前回(令和5年2月)調査時



## 6. 賃上げの状況 - 令和4年度以降の賃上げ率-

○ 「既に実施した」と「実施予定」と回答した企業のうち、製造業で約9割、非製造業で約8割が賃上げ率「5%未満」と回答。



(参考) 前回(令和5年2月)調査時

